

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【自転車移動中の転倒による当社社員の左上腕骨骨頭下骨折について】 工事監理のため自転車で移動中の当社社員が、H1・H9タンクエリア間道路上の濡れた鉄板上で転倒。病院にて左上腕骨骨頭下骨折、自宅療養2ヶ月と診断。 今後、雨天及び雨天翌日等、濡れ鉄板上を走行する際は3輪自転車を使用するよう周知。	GⅡ	10月11日
2	【高台原子炉注水設備の照明用ディーゼル発電機の起動不能について】 定例試験時に高台原子炉注水設備の照明用ディーゼル発電機の起動不能を確認。 発電機用バッテリーの劣化と判断。バッテリーを交換予定。 なお、高台原子炉注水設備周辺には外灯があり、照明に支障なし。	GⅢ	10月10日
3	【凍土遮水壁冷却塔2B-2の散水ポンプ用吸込フィルタの詰まりについて】 凍土遮水壁冷却塔2B-2の散水ポンプ用吸込フィルタの詰まりと推定。 フィルタを清掃予定。 なお、冷却塔は別系統に切替し運転継続中。	GⅢ	10月11日
4	【多核種除去設備 処理水貯槽12の水位監視不能について】 降雨により多核種除去設備 処理水貯槽12の水位計用の現場中継盤が水没し、水位が監視不能。 同貯槽は満水で水の移送はしておらず、系統への影響なし。現場中継盤は水抜き、清掃、乾燥済み。 原因は、現場中継盤内への浸水と考えられるため、今後、現場中継盤の止水処理を実施予定。	GⅢ	10月12日
5	【Bエリア排水弁の水没について】 降雨によりBエリアの排水弁が水没していることを確認。排水については手動で開閉可能なため支障なし。 水没箇所は水抜き済み。今後、水没した排水弁の電気系統の乾燥および絶縁抵抗の測定を実施予定。	GⅢ	10月13日
6	【多核種除去設備 処理水貯槽34の水位計の指示不良について】 多核種除去設備 処理水貯槽34の水位計の指示不良を確認。 同貯槽は満水で水の移送はしておらず、系統への影響なし。 結露が原因と考えられるため、拭き取りを実施予定。	GⅢ	10月13日
7	【既設多核種除去設備(C)の移送配管からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(C)の移送配管からの漏えいを確認。 配管フランジ溶接部のピンホールからの漏えいと判明。当該配管の水抜きを実施し漏えい停止。 今後、ピンホールの原因調査および配管修理予定。	GⅢ	10月14日
8	【使用済吸着塔一時保管施設のA系漏えい検知器不良について】 使用済吸着塔一時保管施設の漏えい検知器の監視不能を確認。2系統あるうちの別系統にて監視は可能。 原因は、現場盤の入力基板の異常と考えられるため、入力基板を交換予定。	GⅢ	10月12日
9	【1号機タービン建屋の電気マンホールNo.1, 2エリアの水位管理の不備について】 1号機タービン建屋の電気マンホールNo.1, 2エリアの水位が、運用目標値と近傍サブドレンの水位の両方を超えていたが、情報伝達に問題があり、手順書に記載された近傍のサブドレン設備を停止しなかったことを確認。ただし、この状態であっても当該エリアはサブドレンと連通していない孤立したエリアであるため、運転上の制限を逸脱した事象にはならない。 原因は、設備主管グループが当直に当該エリアの水位を伝えず、また当直は設備主管グループに当該エリアの水位を確認しなかったことによる。 現在、対策を検討中。	GⅢ	10月15日
10	【6号機非常用ディーゼル発電機(A)の清水系弁のシート漏えいについて】 6号機非常用ディーゼル発電機(A)の計画点検において、清水系弁のシート漏えいを確認。清水系のタンクの水抜き中に清水系弁を一旦閉止した際、シート漏えいしたことから、異物の噛み込みがあったと推定。 今後、清水系弁を分解点検予定。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。	GⅢ	10月11日